

## 【平成 23 年 4 月 1 日から平成 28 年 10 月 31 日までにマムシに咬まれて救急外来を受診した患者さん、およびご家族の方へ】

当研究の対象者として該当される方にお知らせ致します。対象とされることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、お手数ですが下記連絡先までご連絡ください。

### 【研究タイトル】

マムシ咬傷<sup>\*1</sup>に対する抗毒素血清療法<sup>\*2</sup>の有用性についての調査研究

\*1: マムシ咬傷(まむしこうしょう)とは、北海道から九州までに生息する毒蛇(どくへび)の一種であるマムシに咬まれて発症する病気のこと、咬まれた部分の張れ、血圧の低下、出血しやすくなる状態となり、重症の場合は亡くなることもある病気です。

\*2: 抗毒素血清療法(こうどくそけっせいりょうほう)とは、体内に入ったマムシの毒に効果がある注射薬を使用して、治療を行うことです。

### 【研究背景・目的】

この研究では、日本における救急救命センターや救急外来約 70 施設が協力を行い、マムシ咬傷により救命救急センターを受診した患者さんの救急医療施設での医療行為、およびその後の経過について調査・解析することを目的としています。本研究から得られた結果から、今後、マムシ咬傷の効果的な治療法を検討する上での足がかりとし、抗毒素血清療法の治療法の基準を作り上げていくことを最終目的としています。

### 【研究期間・取得情報】

- ・研究期間：平成 29 年 5 月 23 日から平成 30 年 5 月 31 日
- ・対象：平成 23 年 4 月 1 日から平成 28 年 10 月 31 日までにマムシに咬まれて救急外来を受診した患者さん
- ・取得情報、および他施設へ提供する情報：  
年齢、性別、受傷部位、初診時の腫脹の範囲、初診時外科処置の有無、マムシ抗毒素血清投与の有無と受傷後投与までの時間、併用治療薬の有無と内容、2 次的外科処置の有無と内容、最大腫脹域とそれを確認した病日、入院日数と退院後の転帰

## 【個人情報の取扱い】

研究の際の個人情報の取り扱いは、研究責任者により厳重に管理され、外部への研究発表の際には患者さん個人を特定する情報は含まないようにして行います。

研究の対象となることを望まない旨の申し出や他の研究施設への情報提供を望まない申し出があった場合には、ただちに研究対象から除外します。なお、匿名化（データの識別のために個人を特定できる情報を番号・記号等に置き換えること）を行った後の患者さんの情報については、研究から除外できない場合もありますのでご了承下さい。

## 【診療記録(カルテ)等の開示について】

当院は、研究に使用しました患者さんの診療記録等について、患者さんが開示を求められた場合には、遅滞なく内容を確認し、当院の「患者情報の提供等に関する指針」に従って対応いたします。当院の診療記録等に関してのご質問や患者さんの個人情報のお問い合わせは、下記、「問い合わせ先」にてお受けいたします。

- ・ 診療記録を複写・印刷する場合の料金：枚数×20 円＋消費税

## 【研究組織】

### <飯塚病院>

- ・ 研究責任者：飯塚病院 救急部 奥山 稔朗

### <共同研究施設における研究組織>

- ・ 主管施設名：近畿大学医学部附属病院救命救急センター
- ・ 研究責任者：近畿大学医学部附属病院救命救急センター 教授 北澤 康秀
- ・ この研究についての情報公開先(その他の共同研究施設)：近畿大学医学部附属病院救命救急センターのホームページ

<http://www.med.kindai.ac.jp/cgi-bin/kyumei/info/list.cgi?eid=1491285545>

## 【問い合わせ先】

〒820-8505

福岡県飯塚市芳雄町 3-83

飯塚病院 救急部 奥山 稔朗

TEL：0948-22-3800（代表）